

含浸補強厚膜型弱溶剤特殊エポキシ樹脂シーラー

エスケー強化シーラー

劣化が進行した基材を強化し、美しい仕上がりに！

エスケー強化シーラーは、含浸補強効果に優れた厚膜タイプの二液弱溶剤形エポキシ樹脂シーラーです。経年で劣化が進行した窯業系屋根材等の吸い込みが著しい下地の表面に浸透し、強固に下地を補強します。また、肉持ち感のある皮膜を形成し、上塗りの仕上がり性を高める基材補強タイプのシーラーです。

特長

含浸補強効果

2液タイプの特殊エポキシ樹脂が脆弱部に深く浸透し、架橋塗膜を形成することで下地を強固に補強します。

優れた付着性

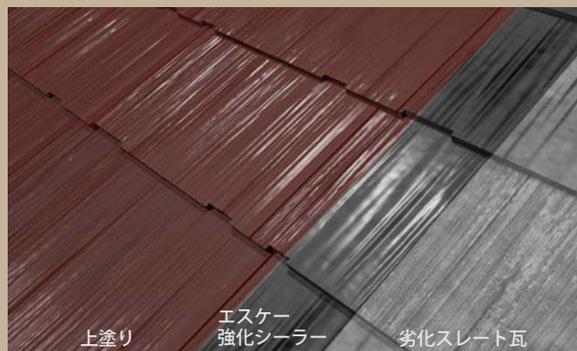
付着性に優れており、住宅屋根に使用されている各種スレート瓦、セメント瓦などに幅広くご使用いただけます。

高いシール性

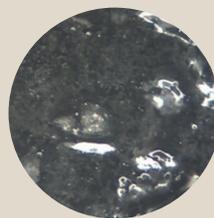
コンクリート、セメントモルタルなどに対し、高いアルカリシール効果を発揮します。

高い仕上がり性（上塗り）

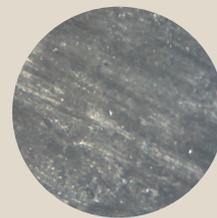
固形分濃度が高い為、厚膜型の塗膜を形成し、上塗りの仕上がり性を向上させます。



■シーラーを塗付した劣化スレート瓦の表面拡大写真



エスケー強化シーラー



汎用シーラー

用途

劣化した窯業系屋根材の塗替え

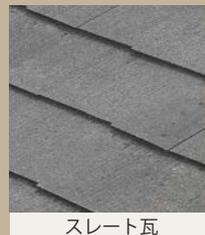
※けい酸カルシウム板など吸い込みが多い基材の下塗りとしてもご使用いただけます。

適用下地

薄型塗装瓦（コロニアル、カラーベストなど）、ノンアススレート、セメント瓦（モニエル瓦^{※1}など）コンクリート、セメントモルタル、けい酸カルシウム板、スレート板など

※1. モニエル瓦の場合は、脆弱なスラリー層等を十分に除去してください。

※2. 陶器瓦にはご使用いただけません。



スレート瓦



モニエル瓦

標準施工仕様

【薄型塗装瓦の場合】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
素地調整	●高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							—	
乾燥	●水洗後は十分に乾燥を行ってください。 ●下地が雨や結露などで塗れている場合は、十分に乾燥を行ってください。							—	
下塗り	エスケープ強化シーラー 主剤	100	0.15~0.25	1~2	4以上	4以上 7日以内	※	—	ウールローラー、刷毛 エアレスプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	エスケープ強化シーラー 硬化剤	25							

※工程間間隔時間について、水性上塗材を使用する場合は、16以上7日以内、一液プレミアムルーフシリコンを使用する場合は、8以上7日以内としてください。

施工上の注意

- 基材の反りや割れ、剥がれなど、強度低下が著しい基材には塗装できない場合があります。
- 著しい割れなど、基材自体に損傷がみられる場合は、塗装すると反りや割れが発生する可能性があります。
- 光沢の残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。
- モニエル瓦の場合は、脆弱なスラリー層等を十分に除去してください。脆弱なスラリー層が残っている場合は、シーラーの付着不良を生じる可能性があります。
- 下地の種類により所要量及び塗回数が異なります。吸い込みの著しい場合は2回塗りとしてください。
- 調合は所定の割合を厳守してください。また混合後の材料は、可使時間(23℃、5時間)以内に使い切ってください。
- 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしないでください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高温時には乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 改修工事の場合は溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- かび、藻が付着している場合はSKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取ってください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 基材の洗浄に薬剤を用いた場合、薬剤洗浄後の水洗工程を入念に行ってください。薬剤が被塗面に残存したまま塗装すると、塗膜の膨れ、剥がれ、白化につながる場合があります。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は採暖および採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定外の材料を混ぜないでください。

部位	下地の種類	所要量 (kg/ m ²)	塗回数
一般建築屋根	薄型塗装瓦(コロニアル、カラーベストなど)、ノンアススレート※	0.15 ~ 0.25	1 ~ 2
	セメント瓦(モニエル瓦など)	0.15 ~ 0.25	1 ~ 2
一般建築壁面	コンクリート、セメントモルタル、けい酸カルシウム板、スレート板	0.10 ~ 0.20	1 ~ 2

※基材自体の強度低下が著しく、塗装できない場合もありますので、ご注意ください。

適用上塗材

- ★エスケーププレミアムルーフSi、★一液プレミアムルーフシリコン
- ★ヤネフレッシュ、★ヤネフレッシュSi、★ヤネフレッシュF
- 水性ヤネフレッシュシリコン、水性ヤネフレッシュフッソ
- 各種外用塗料※

※高弾性塗材、単層弾性塗材には適用できません。

【危険情報と安全対策】

- 製品の取扱いは、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
- 特に★印のついている製品はすべて溶剤形のため、下記の点にご注意ください。
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

荷 姿

- ★エスケープ強化シーラー 主剤 12kg 石油缶
- ★エスケープ強化シーラー 硬化剤 3kg 缶
- (標準塗坪：60~100 m²/セット)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427
仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載、複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2021年12月](211210.Y-1)

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

